

4. 離島振興

4-1. 沖縄県の離島の特性と振興について

1. 離島の地域特性

- 東西約1,000km、南北約400kmの海域に160の島々が点在し、有人離島は39島
- 人口が1,000人未満の小規模離島が多い
- 広大な海域が国家的利益（EEZ）を確保、海洋資源の活用の可能性
- 個性豊かな自然環境、文化、歴史的遺産等の魅力

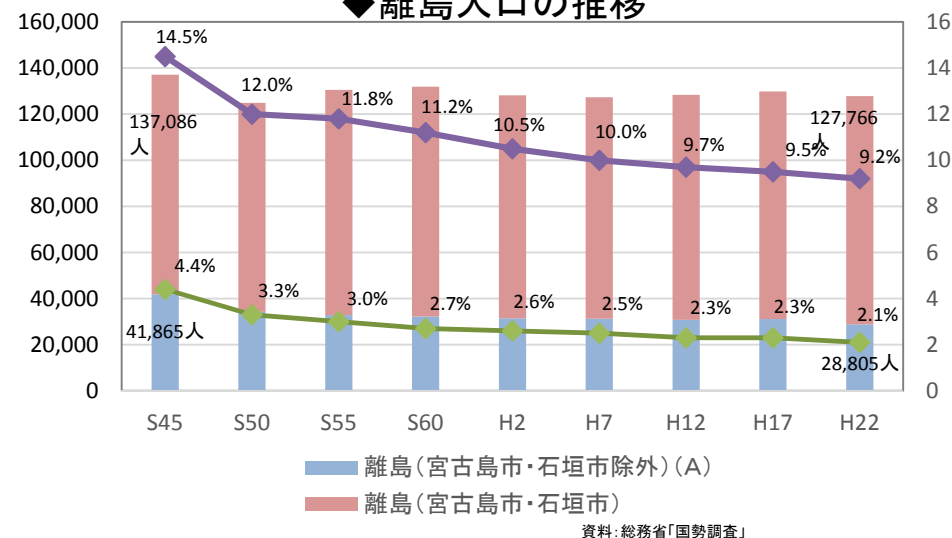


2. 課題と振興策

「住みよく魅力ある島づくり計画」 (平成25年3月沖縄県策定)

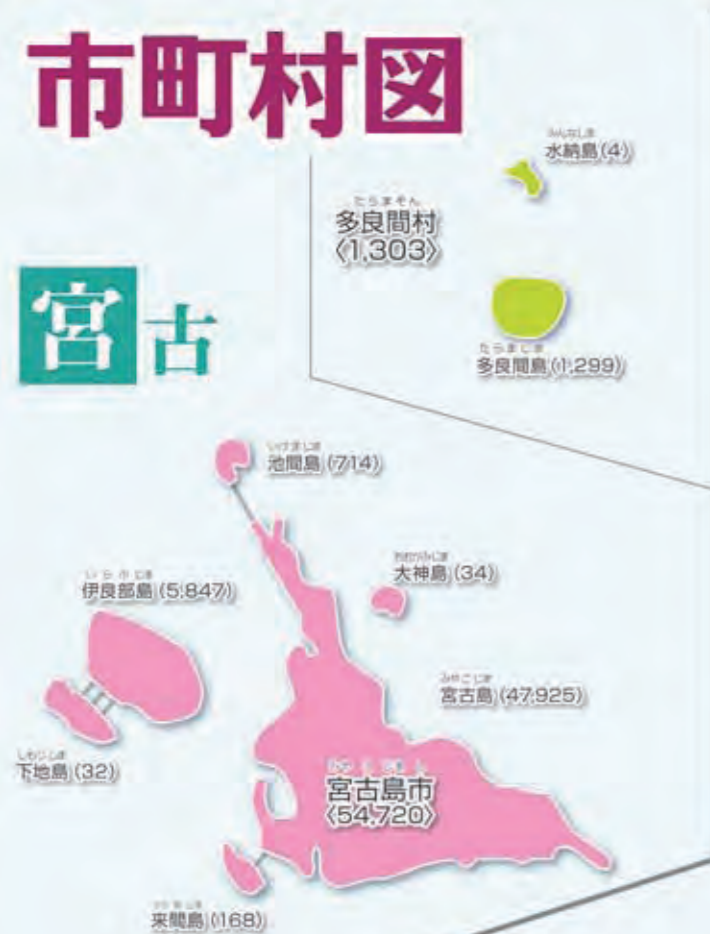
- 遠隔性、散在性、狭小性等の条件不利性が由来の課題
 - ①割高な移動・輸送コスト、
 - ②行政サービスの高コスト構造、
 - ③医療・福祉・教育など基礎的生活条件の不足
- 県民はもとより国民全体で離島の負担を分かち合い、支え合う仕組みを構築し、
 - ①離島における定住条件の整備
 - ②離島の特色を生かした産業振興を図る

◆ 離島人口の推移

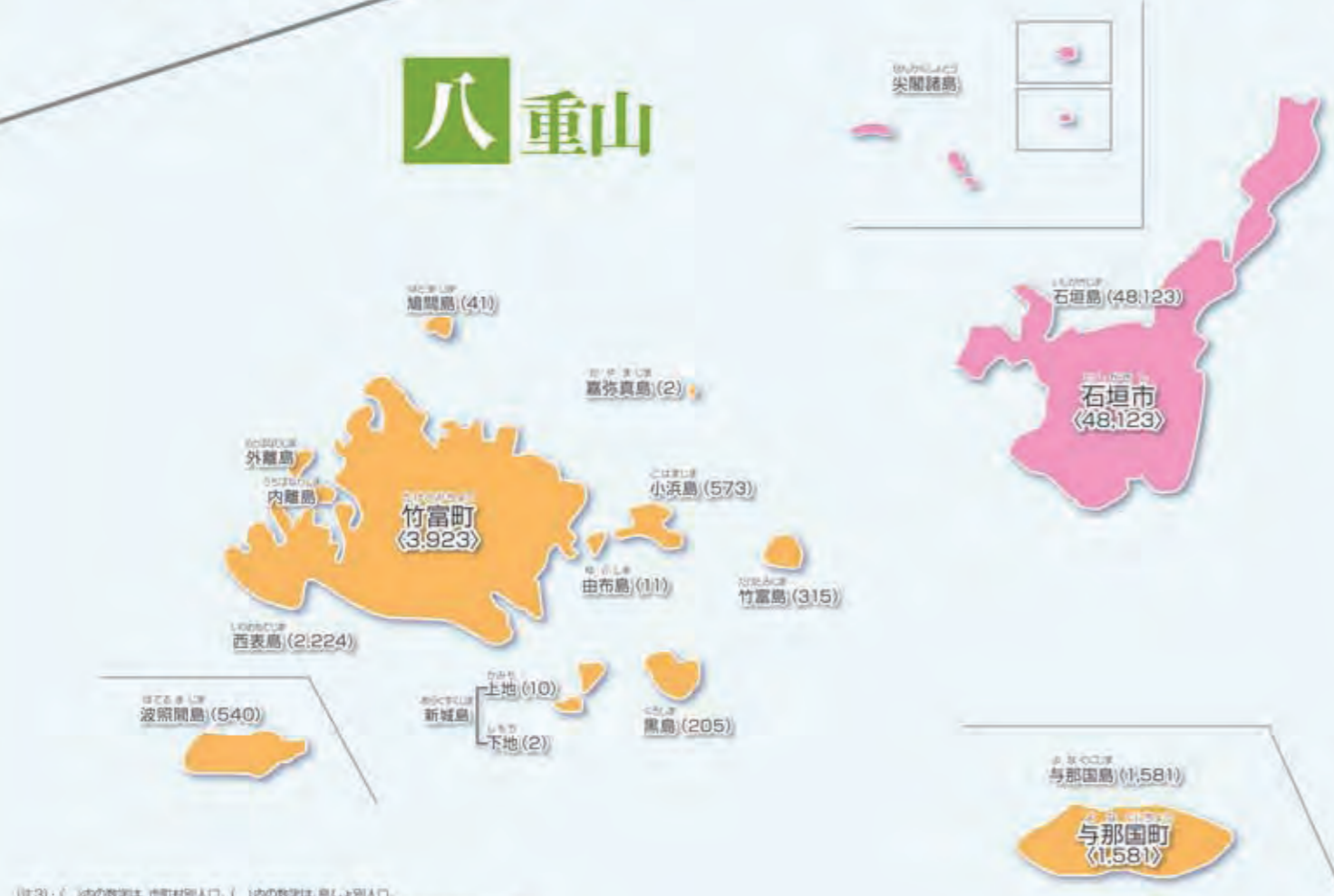


市町村図

宮古



八重山



沖縄県の市町村数： 41

沖縄県の人口・面積(注1)

人口	面積
1,413,583人	2,276.49km ²

沖縄県の島しょの概況(注2)

	沖縄本島	沖縄本島と橋等で連結されている島	その他	合計
有人島	1	9	39	49
無人島	0	2	109	111
計	1	11	148	160

*島しょ：面積が1ヘクタール(100m×100m)以上の島

有人離島(本島と橋等で連結されている島を除く)の人口計：131,396人(県人口の9.3%)(注3)

沖縄本島周辺



(注3)・()内の数字は、市町村別人口、()内の数字は、島しょ別人口。
人口は、沖縄県企画部市町村課「住居基本台帳人口の概況(平成23年3月末日現在)」による。
島しょ別人口において、沖縄本島と橋等で連結されている島は、沖縄本島に含めてある。
離島面積については、沖縄県土木建築部建設部資料による。

(注1)面積は国土交通省国土情報課(平成23年10月1日現在)による。
(注2)沖縄県企画部市町村課「島しょ別人口の概況(平成23年1月)」による。

4-2. 離島振興の課題及び一括交付金事業例について

【課題】航空機及び船舶運賃が割高



○ 沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業

住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう離島住民や離島出身高校生等の航空賃及び船賃の負担を軽減

【課題】船舶の更新費用が航路事業者の大きな負担



○ 離島航路運航安定化支援事業

離島住民のライフラインである離島航路を確保・維持するため、船舶を建造・購入

【課題】輸送経費等のため、食品や日用品が割高



○ 離島食品・日用品輸送費等支援実証事業

離島における割高な生活コストを低減し、離島の定住条件の整備を図るため、食品・日用品に係る輸送経費を低減

【課題】高校進学の際に島を離れる(十五の春)ことによる負担



○ 離島児童生徒支援センター整備事業(群星寮)

高校のない離島出身者が、沖縄本島の高校に進学するための寄宿舍等の整備

むるぶしりょう

【課題】民間学習塾がない又は少ない



○ 家庭学習支援モデル事業【与那国町】

離島で塾がない状況の中、学力の向上を図るため、小中学校の希望者に対し、東京の塾とオンライン双方向授業を行う「町営塾」を開設

【課題】人工透析患者の本島への通院の負担



○ 島村立診療所人工透析施設整備事業【伊江村】

離島であるため、本島に定期的に通う必要がある透析を必要とする患者の負担を軽減するための人工透析施設の整備

4-3. ソフト交付金の事業例について

離島児童生徒支援センター 整備事業【県事業】

- 高校のない離島出身者が、沖縄本島の高校に進学するための寄宿舎等の整備
- 総事業費：10.3億円(国費：8.2億円)※24～27年度 むるぶしりょう
- 28年1月8日開所 (群星寮)



- 経済的・精神的負担の軽減
- 公平な教育機会

家庭学習支援モデル事業 【与那国町】

- 離島で塾がない状況の中、学力の向上を図るため、小中学校の希望者に対し、東京の塾とオンライン双方向授業を行う「町営塾」を開設
- 28年度：0.18億円(国費：0.15億円)

